

千葉県における 歯周疾患検診の現状と課題

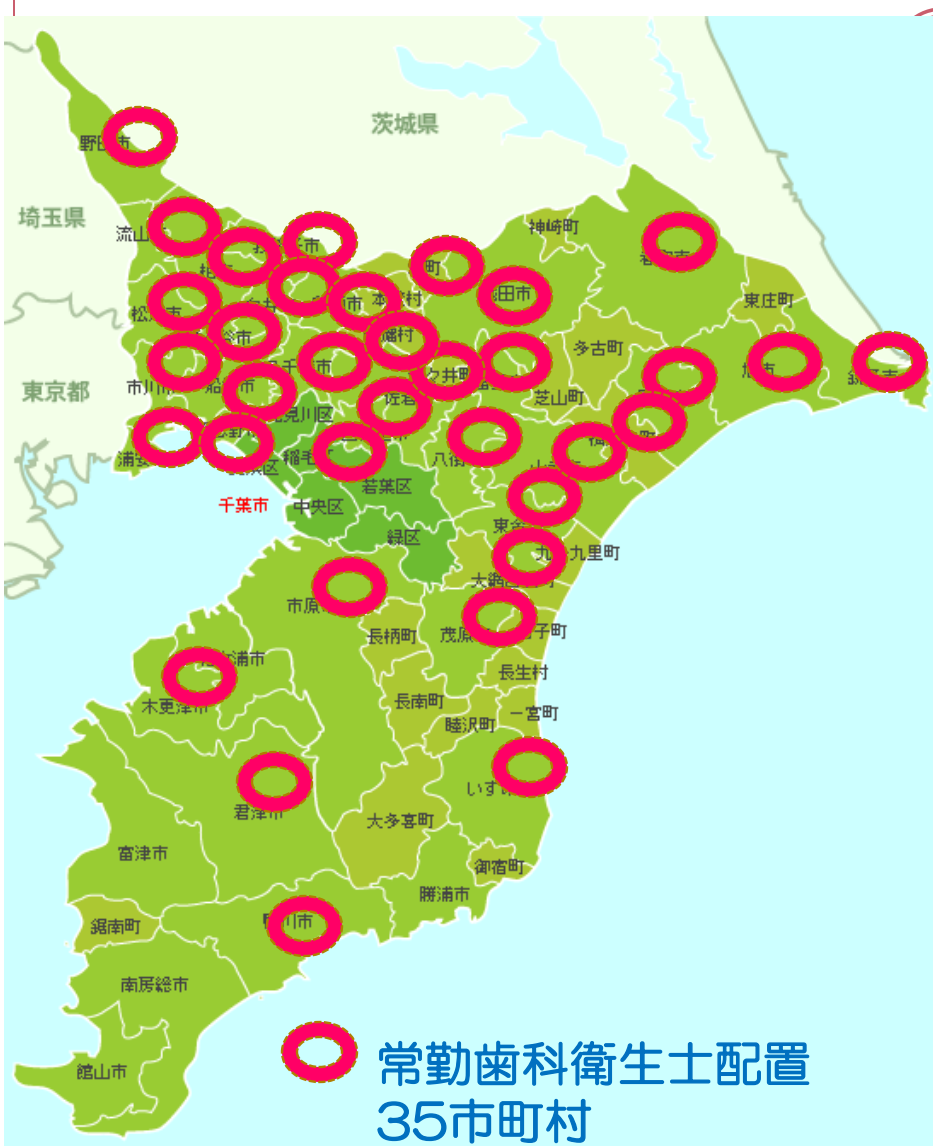


市原市保健センター

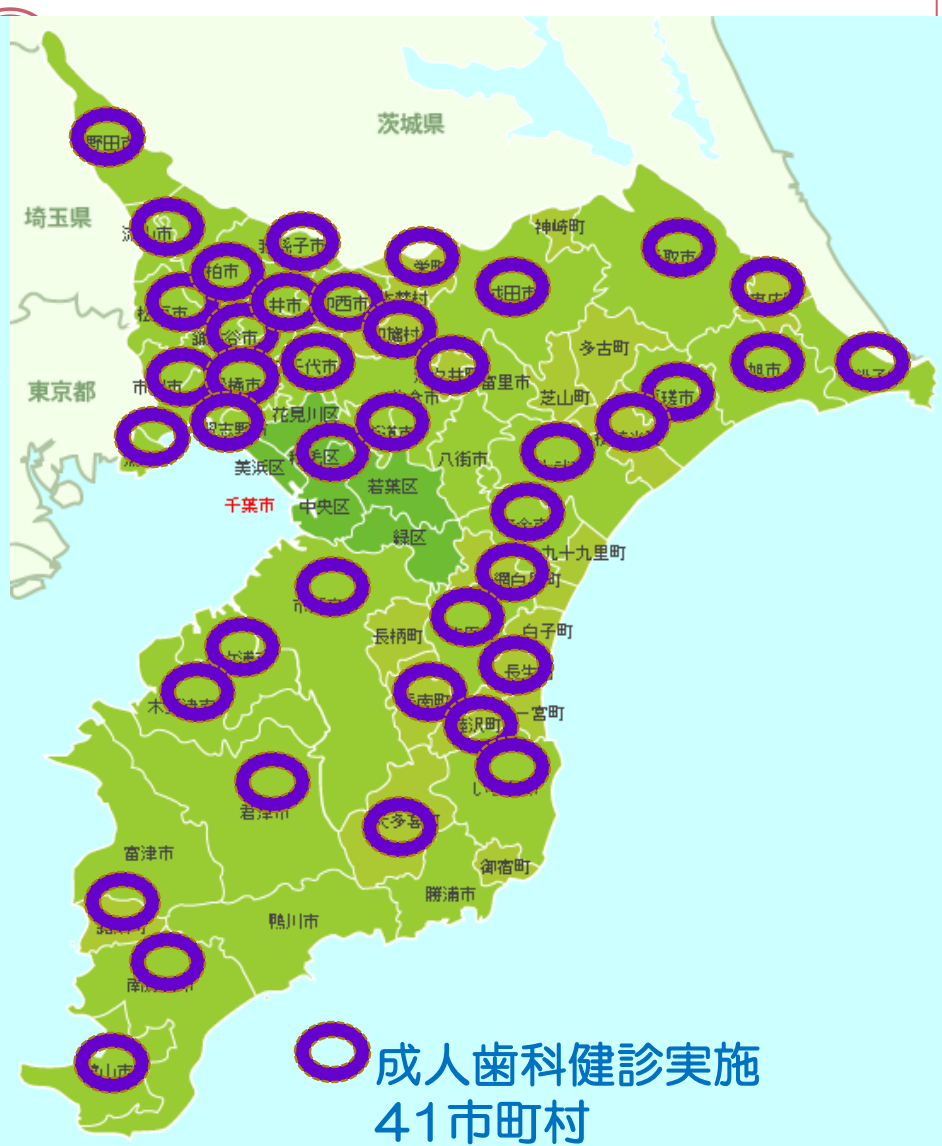
歯科衛生士
高澤みどり

常勤歯科衛生士配置市町村および成人歯科健診実施市町村

(平成25年度市町村歯科保健事業実施状況:平成26年6月千葉県健康福祉部)



常勤歯科衛生士配置
35市町村



成人歯科健診実施
41市町村



市町村における歯科 保健事業と生活習慣病 予防対策との連携実態

— 歯周疾患検診と特定健康診査に壁はあるか —

高澤みどり (市原市保健センター)

安藤雄一 (国立保健医療科学院)

深井穫博 (日本歯科医師会)

目的



「早食い」や「よく噛めない」ことは、肥満やメタボリックシンドロームとの関連が高いとされているが、市町村の歯科保健事業における実態は見えてこない現状がある。

メタボリックシンドローム改善のため歯科を含めた効果的な展開の検討につなげるため、歯周疾患検診と特定健康診査との実施状況を明らかにした。

方法



平成23年10月、千葉県内54市町村に対し、歯科保健事業と特定健康診査等について、郵送によるアンケート調査を実施した。回答は、郵送またはメール・faxとした。

なお、本調査は千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例（平成22年4月1日施行）に基づく県民の歯科疾患等の実態について必要な調査（第12条）のひとつと位置付け、県担当課の協力の下で実施した。

結果 ①



回答率は100%であった。回答者は歯科衛生士32 (59.3%) 保健師19 (35.2%) 栄養士1 (1.8%) 事務職2 (3.7%) であった。

1. 歯周疾患検診（成人歯科健診）実施と他の健診との同時開催の状況

n=54

同時開催している※	6 (11.1%)
同時開催していない	34 (63.0%)
歯周疾患検診を実施していない	14 (25.9%)

※同時開催の内訳：特定健康診査4、骨粗しょう症検診2、がん検診1、結核検診2（複数回答あり）

成人歯科健診実施市町村①(平成22年度)

市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
1	○	個別	妊婦・40歳以上節目	462	
2	○	個別	40歳以上	2,395	
3	○	個別	40歳以上節目	306	
4	○	個別	30歳以上節目	3,028	
5	○	個別	40歳以上	1,043	
6	○	個別	20歳以上	2,422	
7	○	個別	20・30・40歳以上	324	
8	○	個別	30～80歳	346	
9	○	個別	40歳以上節目	619	
10	○	個別	40歳以上	361	
11	○	個別	30歳以上	701	
12	○	個別	40歳以上	257	
13	○	個別	40歳以上節目	89	

成人歯科健診実施市町村②(平成22年度)

市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
14	○	個別	40歳以上節目	130	
15	×	個別	40歳以上	87	
16	○	個別	30歳以上節目	6	
17	×	集団	40歳以上	20	
18	○	集団	40歳以上節目	15	
19	○	個別	40歳以上節目	74	
20	○	集団	18歳以上	704	一部同時開催
21	○	集団	20歳以上	121	
22	○	集団	18歳以上	190	一部同時開催
23	○	集団	40歳以上節目	62	
24	×	集団	40歳以上	720	同時開催
25	○	集団	一般住民	76	
26	○	集団	40歳以上節目	110	

成人歯科健診実施市町村③(平成22年度)

市町村	常勤DH	個別・集団	対象	実施数	特定健診
27	×	集団	40歳以上節目	14	
28	×	集団	40歳以上	88	
29	○	個別	40歳以上節目	15	
30	×	個別	40歳以上節目	93	
31	×	個別	40歳以上節目	20	
32	○	個別	40歳以上節目	437	
33	○	個別	40歳以上節目	369	
34	○	個別	30歳以上節目	293	
35	○	個別	20歳以上	132	
36	○	個別	40歳以上節目	2,899	
37	○	個別	40歳以上節目	2,461	
38	○	個別	20歳以上節目	745	
計				22,234	

結果 ②



2. 今後の同時開催予定状況（同時開催未実施市町村）

n=48

歯周疾患検診の変更について検討中、または検討予定	2 (3.7%)
変更予定なし	39 (72.2%)
その他	7 (13.0%)
未記入	6 (11.1%)

歯周疾患検診を単独で実施しているまたは、現在歯周疾患検診を実施していない市町村のほとんどが、今後変更の予定はないと回答している。

結果 ③



3. 歯科保健事業への特定健康診査・特定保健指導のデータ活用状況（複数回答）

n=54

歯周疾患検診のデータと統計分析している	0
ヘモグロビンA1cのデータを活用している	2
メタボリックシンドローム判定のデータを活用している	1
BMIのデータを活用している	1
特に活用していない	51
未記入	1

51市町村（94.4%）において、データの活用をしていない状況にある。

結果④



4. 特定健康診査・特定保健指導と歯科分野のかかわり（複数回答）

n=54

歯科に関する項目は全く入っていない	37
特定健康診査には何らかの関係がある	4
特定保健指導には何らかの関係がある	10
担当者に対し積極的に糖尿病や肥満との関連を伝える	6
近い将来関わることができそうである	1
その他	3

37市町村（68.5%）が特定健康診査・特定保健指導に歯科に関する項目が全く入っていない状況であった。

結果 ⑤



5. 肥満や糖尿病に関する教室と歯科分野のかかわり (複数回答) n=54

歯科に関する項目は全く入っていない	25
肥満に関することには関わりがある	9
早食いに関することには関わりがある	10
糖尿病に関することには関わりがある	16
担当者に対し積極的に糖尿病や肥満との関連を伝える	7
近い将来関わることができそうである	1
その他	9

25市町村（46.3%）が歯科に関する項目が全く入っていない状況であった。実施しているものの大半は講座での健康教育であった。

県内の状況（16市町村にインタビュー）の抜粋

市町村	歯周疾患検診	特定健診とのかかわり		特定保健指導とのかかわり
A	集団検診で実施	特定健診と一部同時開催	特定健診が始まる前から同時開催していた 特定健診終了後に希望者は歯科健診受診	特になし
B	集団検診で実施 （大学病院の歯科医師に委託）	特定健診と同時開催 （すべての日程が同時開催）	住民健診の頃から歯科健診と同時開催していた 特定健診の途中で希望者は歯科健診受診	特になし
C	集団検診で実施	特定健診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診と同時開催		得になし
D	集団検診で実施	骨量検診と同時開催		積極的支援の教室で歯周病とメタボの関係を担当
E	個別検診で実施			動機付け及び積極的支援対象者向けの教室で歯科の講話
F	個別検診で実施	特になし		特になし

考察 ①



歯周疾患検診および特定健診はどちらも生活習慣病予防の対策であるが、双方が連動していない実態が確認された。

ほとんどの市町村で歯周疾患検診の変更予定が無く、特定健康診査・特定保健指導においても、肥満や糖尿病等に関する教室においても十分な関わりとは言えない状況にある。

考察 ②



個人データのリンケージも歯周疾患検診については全くされていない状況が明らかになった。

歯科保健担当者が、歯周疾患検診と特定健康診査・特定保健指導の接点に着目することが、その壁を打ち砕き連携を図っていく糸口になると考える。

☆本研究は、厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣対策総合研究事業）により行われた

インタビューからの声



- どの市町村においても、受診率の低さなど課題が多い事業である
- 受診率の分母が統一されていない
- 健診をすることが目的化している
- 課題が多い割には、変更が検討されていない
(どうしていいのかわからない? 変える気がない?)
- 成人歯科健診の評価の仕方がわからない
(目的が明確ではない)
- 成人事業＝成人歯科健診?
- 結局要治療となり、その日にすぐ治療ができない
- 診療所で行う健診の方が内容が豊富?
- 行動変容に結びつける内容となっていない
- 問診が少ない
- 5年に1回だけでいいのか? (節目健診)
- 精度管理ができない
- 歯科医師会が、説明会(研修会)に参加しない・行政が説明会を開催しない
- 行政が実際の健診の内容を把握できない
- 書類に不備が多い

市原市歯周疾患検診の概要



- 対象：市内在住**20歳**以上の方（平成26年4月1日現在）
- 費用：**500円**
- 期間：平成**26年6月1日**～平成**27年1月31日**
- 内容：**むし歯**のチェック・**歯周病**のチェック
結果説明・**ブラッシング**相談等
- 申込：**直接**協力医療機関に**電話**で申し込む
- 協力医療機関：市内**54**歯科医院

ポスターやちらしには、「ブラッシング相談」と標示している
20問の質問紙票を使用しているが、生活歯援にはつながっていかない

生活歯援プログラム導入に向けての検討

『新しい成人歯科健診・保健指導に関する勉強会』

日時：平成22年8月26日（木）16時～

対象：歯科医師会三役・担当理事
市歯科衛生士等

講師：日本歯科医師会地域歯科保健委員会
委員長 深井穫博先生

- ・標準的な成人歯科保健プログラム
- ・保健指導マニュアルについて
- ・今後の展望について



歯と歯ぐきのスマイル健診問診票

太枠の中の質問にお答えください。該当する項目に○をつけてください。		0点	1点							
口腔機能・QOL・自覚症状	① 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか	いいえ	はい							
	①-2 気になることがある方は、該当するもの全てに○をつけてください a 噛み具合 b 外観 c 発音 d 口臭 e 痛み f その他 ()									
	② ご自分の歯は何本ありますか (かぶせた歯やさし歯も含めます)	20本以上	19本以下							
	③ 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりと噛みしめられますか	両方かめる	片方のみ 両方かめない							
	④ 歯をみがくと血がでますか	いいえ	時々 いつも							
	⑤ 歯ぐきが腫れてプヨプヨしますか	いいえ	時々 いつも							
	⑥ 冷たいものや熱いものが歯にしみますか	いいえ	時々 いつも							
	⑦ かかりつけの歯科医院がありますか	はい	いいえ							
	⑧ 仕事が忙しかったり、なかなか歯科医院に行けないことがありますか	いいえ	はい							
	⑨ 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか	いいえ	はい							
周囲の環境	⑨-2 該当するもの全てに○をつけてください a 糖尿病 b 脳卒中 c 心臓病									
	⑩ 家族や周囲の人々は、日頃の健康に関心がありますか	はい	どちらとも いいえ							
	⑪ 自分の歯には自信があったり、人から褒められたことがありますか	はい	どちらとも いいえ							
	⑫ 普段、職場や外出先で歯をみがきますか	毎日	時々 いいえ							
	⑬ 間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか	いいえ	時々 毎日							
	⑭ たばこを吸っていますか	いいえ	はい							
	⑮ 夜、寝る前に歯をみがきますか	毎日	時々 いいえ							
	⑯ フッ素入り歯みがき剤を使っていますか	はい	いいえ わからない							
	⑰ 歯間ブラシまたはフロス（糸つきようじ）を使っていますか	毎日	時々 いいえ							
	⑱ ゆっくりよく噛んで食事をしますか	毎日	時々 いいえ							
保健行動	⑲ 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことがありますか	はい	いいえ							
	⑳ 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか	はい	いいえ							
	① 口腔機能・困りごと・QOL <お口の健康に関する事>	① 気になること		a						
	噛み具合	外観	発音	口臭	痛み	その他	現在歯19本以下			
	自覚症状 <自覚症状や口の中の状態>	③ 奥歯の噛みしめ	④ 歯みがき時の出血	⑤ 歯ぐきのプヨプヨ	⑥ 歯にしみること					
	⑦ 周囲の環境 <お口の健康に関わる環境>	⑦ かかりつけ歯科医院	⑧ 歯科医院への通院	⑨ 病気の治療	⑩ 周囲の関心	⑪ 自信を 持っている歯	⑫ 職場での 歯みがき	b		
	⑯ 保健行動 <お口の健康に関する行動>	⑬ 間食	⑭ たばこ	⑮ 就寝前の歯みがき	⑯ フッ素入り歯 磨き剤	⑰ 歯間ブラシ・ フロス	⑱ ゆっくり 噛む	⑲ 歯みがき 指導	⑳ 定期健診	c
	a QOL・自覚症状・機能 (①～⑥)	2点以上		「知識提供・気づき型」+「相談・カウンセリング型」						
	b 周囲の環境 (⑦～⑫)	3点以上		「知識提供・気づき型」+「相談・カウンセリング型」 +「環境・受け皿支援型」						
	c 保健行動 (⑬～⑲)	3点以上		「知識提供・気づき型」+「相談・カウンセリング型」+「実技指導型」						
太枠	5点以上		「受診勧奨型」							
いずれも該当なし			「知識提供・気づき型」							

市原市歯周疾患検診保健指導の課題

歯周疾患健診説明研修会

対象：歯周疾患検診受託歯科医院の
歯科医師・歯科衛生士等



- ✓ 「新しい成人歯科健診」についての周知が難しい
→研修会への参加を委託の条件とするが、徹底できない
- ✓ 従来の検診結果説明とブラッシング指導になりやすい
- ✓ 相談を担当する歯科衛生士がいない歯科医院もある・歯科衛生士がいても支援より指導となりがち

人材育成が大きなポイント！